

13. 数学会のジャーナルの電子化について (1) ワークショップ「数学ジャーナルの電子化および電子化後における諸問題とその解決に向けて」

日本数学会が共催して標記のワークショップが下記の次第で開催されました。

記

「数学ジャーナルの電子化および電子化後における諸問題とその解決に向けて」

日時 2007年1月19日(金)

10:00 から 17:30 まで

場所 東京大学数理科学研究科大講義室

主催 北海道大学理学院数理学部門
東京大学数理科学研究科

共催 日本数学会 国立情報学研究所 京都大学
附属図書館 東京大学附属図書館
東京大学情報基盤センター

プログラム:

10:00-10:20 経緯と主旨説明

10:20-11:00 「NII の研究成果発信支援」

村上祐子 (国立情報学研究所)

11:10-11:30 「Journal of Mathematical Sciences, the University of Tokyo の公開について」

東京大学情報基盤センター

デジタル ライブラリ係

11:40-12:00 「京都大学数理解析研究所講義録の公開について」

京都大学附属図書館

13:30-14:10 「日本数学会の数学文献電子化について」

戸瀬信之 (日本数学会, 慶應義塾大)

14:30-15:10 「ジャーナルの電子化 -- 東北数学雑誌の場合」

西川青季 (東北大)

15:30-16:10 「数学論文誌の電子化に関する技術の現状と将来」

鈴木昌和 (九州大)

16:20-17:30 質疑応答

(2) JMSJ の電子化の現状

日本数学会の英文誌 JMSJ の電子化は順調に進んでおります。

独立法人科学技術振興機構 (JST) の

Journal@rchive 事業により, 対象である第1巻 (1948年) から第57巻 (2005年) までの電子化が完成しております. JMSJ は5年経過した号についてオープンアクセスを許すという方針で公開を進めています関係で, 現在は第53巻 (2003年) までが Journal@rchive 事業のもとで公開されております. 今後, 年次進行により公開する号を増やしていく予定です.

Project Euclid における電子化は, 第57巻と第58巻1, 2, 3号が現在公開中です. 近く, 第51巻以降の全ての号を Project Euclid 上で公開できるように作業を進める予定です.

(3) 数学教室へのアクセス権の無償供与の停止

すでに会報112号 (「数学通信」11巻2号) におきましてご説明いたしましたが, 会員に対する Project Euclid 上の JMSJ へのアクセス権の付与が順調に進みましてので, 2007年5月31日をもちまして, 数学教室に付与していました Project Euclid 上の JMSJ へのアクセス権を停止いたします. 各数学教室のご理解をお願いいたします.

(出版委員会委員 戸瀬信之記)